

スポーツ環境が変わります！ 部活動から地域クラブへ

令和8年度から部活動は平日のみ！

みなさんこんにちは。毎日の学校生活を楽しんでますか？
今年度から中学校の部活動が変わっていきます。令和7年度までの3年間で、休日（土曜日や日曜日）の部活動が徐々になくなり、地域のクラブでの活動になっていきます。そのことについて説明しましょう。

なぜ地域クラブにかわるの？

生徒数が減ってきて、各学校の部活動単独での活動が難しくなり、合同チームを組まなければならなくなってきたからです。（R3は2,415人、R4は2,398人、R5は2,322人！）また、自分がやりたい部活動がない、専門的に指導してくれる先生がいないこともその理由です。

クラブの目的は何？

みなさんが、休日に自分の希望するスポーツや競技を自由に選択できるように、そして、経験豊富な指導者から教えてもらえるようにするためです。

🌸 メリットとデメリット 🌸

<メリット>

- ① 休日好きなスポーツに親しむことができます。
- ② やりたいスポーツの選択肢が増えます。
- ③ 人数が確保されて、活動が充実します。
- ④ 指導者から専門的な指導が受けられます。

<デメリット>

- ① 送り迎えや会費などで、おうちの方の負担が増えるかもしれません。
- ② 移動や時間など面で、みなさんの負担も増えるかもしれません。

「クラブ」って何？

クラブには、「競技団体が作っているスクールや道場やクラブ」「スポーツ少年団」「民間が作っているクラブ」「地域（学校ごと）に大人の方々が作っているクラブ」「総合型地域スポーツクラブ（中学校区）」があります。つまり、学校部活動以外のすべてを指します。

部活動とどこが違うの？

部活動は平日のみでその学校の先生が指導します。クラブは主に休日に活動し（平日のところもあり）、地域の大人が指導します。学区関係なしに、いろいろなクラブにも入ることができます。

部活動から地域クラブへ

～ Q&A ～

Q 令和6年度から、休日の部活動はなくなるのですか？

A 令和7年度までは、学校によっては今までと同じように休日も活動することができます。しかし、令和8年度からは部活動は平日だけとなり、休日も活動を希望する人は地域クラブに加入しなければなりません。すでに地域クラブとして活動しているところもありますが、まだのところは、準備ができ次第徐々にクラブの数を増やしていきます。文化部についても徐々に移行していきます。

Q クラブにはどんな種類がありますか？

A 各中学校区、各地域で違いますが、現在、陸上競技・野球・ソフトボール・卓球・サッカー・バレーボール・バスケットボール・テニス・バドミントン・体操・剣道・柔道 等があります。もし自分の住んでいる地域に入りたいクラブがない場合は、他の地域のクラブに入ることもできます。

Q 『総合型地域スポーツクラブ』とは何ですか？

A 「地域の人々に年齢、興味関心、技術技能レベル等に応じた様々なスポーツ機会を提供する、『多種目』『多世代』『多志向』のスポーツクラブ」(「スポーツ基本計画」平成24年3月文部科学省策定)です。簡単に言うと、「同じ地域に住む子どもからお年寄りまでが、自分のやりたいスポーツを、自分のレベルに応じて自由に選んで楽しむスポーツクラブ」のことです。

Q 大会には出場できますか？

A 学校の部活動に所属していれば、中体連はじめ様々な大会に学校単位で出場することができます。また、令和6年度からは、クラブとしての中体連大会への出場もできるようになった種目も増えました。今後、もっと多くの種目のクラブで出場できるようになるでしょう。また、現在は、クラブ独自の大会もいろいろあり、全国大会までつながるものもあります。

中学校部活動改革について

部活動から地域クラブへ

令和8年度から部活動は平日のみになります！

保護者のみなさんこんにちは。日ごろから酒田市学校教育に対しましてご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。引き続きよろしくお願いたします。

さて、ご存じの通り、中学校の部活動が少しずつ変わっていきます。令和7年度までに、休日(土曜日や日曜日)の学校での部活動が徐々になくなり、地域クラブでの活動に移行していきます。

なぜ地域クラブにかわっていくのか

一つ目は、生徒数の減少(R3は2,415人、R4は2,398人、R5は2,322人)に伴い、各学校の部活動は単独での活動が難しくなってきたからです。団体スポーツでは、競技人数に達しないために合同チームを組んで大会に出場したり、休日ごとに他の学校と合同練習をしたりして対応しているのが現状です。

二つ目は、子どもたちの幅広い希望に応えていくためです。つまり、自分がやりたい競技が学校の部活動にない、専門的に教えてほしいが指導・競技経験のある先生や指導者がいない、という課題を解決するためです。

クラブ化の目的について

休日は部活動を行わず、地域クラブで活動する目的は以下の通りです。

「『生徒にとって望ましいスポーツ環境の構築』と『教員の働き方改革の推進』の両立」

- (1) 子どもたちが、自分の希望するスポーツや目標・競技力等に応じた団体を自由に選択できる環境を整えるため。
- (2) スポーツを通して生徒と地域のつながりを深め、地域の活性化を図るため。
- (3) 教員の働き方改革を進め、学校教育活動の一層の充実を図るため。

クラブ加入のメリットとデメリット

メリット

<メリット>

- ① 休日の活動が保障される。
- ② やりたいスポーツの選択肢が広がる。
- ③ 人数が確保されて、活動が充実する。
- ④ 指導者から専門的な指導が受けられる。
- ⑤ 責任の所在が明確になる。

デメリット

<デメリット>

- ① 保護者の負担の増加
(送り迎えや会費【受益者負担】等)
- ② 子どもの負担の増加
(移動や活動の時間、練習の違い等)

部活動から地域クラブへ ～ Q&A ～

Q 令和6年度から、休日の部活動はなくなるのですか？

A 移行措置により、令和7年度までは休日も部活動として活動することは学校によっては可能です。しかし、令和8年度からは部活動は平日だけとなり、休日に活動を希望する人は地域クラブに加入しなければなりません。すでに地域クラブとして活動しているところもありますが、まだ未設置のところは、準備ができ次第徐々にクラブの数を増やしていきます。文化部についても徐々に移行していきます。

Q 「クラブ」と「部活動」の違い、また「クラブ」とは何ですか？

A 部活動は平日のみで、学校教育の一環として先生が指導します。クラブは主に休日に活動し(平日のところもあり)、地域の大人が指導します。学区関係なしに様々なクラブに加入できます。また、クラブには、「競技団体が作っているスクールや道場やクラブ」「スポーツ少年団」「民間が作っているクラブ」「地域(学校ごと)に大人の方々が作っているクラブ」「総合型地域スポーツクラブ」があります。

Q クラブにはどんな種類がありますか？

A 各学区、各地区で違いますが、現在、陸上競技・野球・ソフトボール・サッカー・バレーボール・卓球・バスケットボール・テニス・バドミントン・体操・剣道・柔道等があります。もし自分の住んでいる地域に入りたいクラブがない場合は、他の地域のクラブに入ることもできます。

Q 『総合型地域スポーツクラブ』とは何ですか？

A 「地域の人々に年齢、興味関心、技術技能レベル等に応じた様々なスポーツを提供する、『多目』『多世代』『多志向』のスポーツクラブ」(「スポーツ基本計画」平成24年3月文部科学省策定)です。簡単に言うと、「同じ地域に住む子どもからお年寄りまでが、自分のやりたいスポーツを、自分のレベルに応じて自由に選んで楽しむスポーツクラブ」のことです。

Q 大会には出場できますか？

A 学校の部活動に所属していれば、中体連はじめ様々な大会に学校単位で出場することができます。また、令和6年度からは、クラブとしての中体連大会への出場可能になった種目も増え、拡大しました。今後、さらに多くの種目でクラブが出場できるようになるでしょう。また、現在は、クラブ独自の大会もいろいろあり、全国大会までつながるものもたくさんあります。